**令和6年度**

保護者による評価

職員による自己評価

**事業所自己評価シート**

1. 環境面・体制整備

・職員の配置数は適切であるか

　＊適切とは言えないと思う。

1. 業務改善

・この自己評価の結果を会報やホームページ等で公開しているか。

　＊ホームページで公開している。

③適切な支援の提供

・支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認をしている。

④関係機関や保護者との連携

・　学校を卒業し、放課後デイサービスから窓外福祉サービスへ移行する場合、それまでの情報を提供している。

⑤保護者への説明責任等

・毎月会報を発行している。活動の様子も伝えている。

・参加される方が少なく、保護者会は開催できなかった。

1. 非常時等の対応

・非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている。

・虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている。

5名回答

1. 環境・体制整備

・職員の配置数や専門性は適切であるか。

　どちらともいえない2名

1. 適切な支援の提供

・放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか。

　どちらともいえない、いいえ　4名

1. 保護者への説明等

・日頃から子どもの状況を保護者と伝えあい子どもの発達の状況や課題について共通理解しているか。

　はい5名

1. 非常時等の対応

・非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか

はい５名

1. 満足度

・子どもは通所を楽しみにしている。

　はい５名

・事業所の支援に満足しているか

　はい４名、どちらともいえない１名

事業所内での分析

【共通点】

・職員の配置数について適切とは言えない。

・非常災害に備え定期的に避難等の訓練を行っている。

・保護者と日頃から子どもの状況や様子を伝える事が出来ている。

【相違点】

・特になし。

分析・検討してみて…

事業所の強み

事業所の改善点

・少ない職員での対応に保護者が不安に感じないように、活動の配慮や工夫している事等を伝えていくようにする。

・家族とのコミュニケーションは概ね取れていると思う。

・職員間の関係も良好で、常に相談したり話し合える環境である。

・人手不足は福祉全体の問題であるが、当法人のように小さな事業所は本当に職員の確保が難しい。そのような状況で今年度は、活動内容や受け入れ人数の工夫をして安全確保が出来るように努めてきた。　また、懇談会を開催する予定だったが、参加出来るご家族が少なく止む無く懇談会を中止した。以前とはご家族の意識や状況も変わってきている。

国は個別支援計画に5領域という枠を設けたが、ご家族はデイサービスに何を求めているのか、そこには差があるのではと思わずにはいられない。

事業所として、上からの様々な方針の変更に翻弄されながら、日々子どもの利益を最善にひとり一人の職員が奮闘している。これ以上の改善は出来ない。

事業所の改善への取り組み

～自己評価を行っての事業所としての感想など～

アンケートのご協力有難うございました。

ムーは14回目の春を迎えます。時間と社会の流れの中で障害福祉も大きく変わりました。

それでも事業所とは、大人も子どもも共に育ちあう場所でありたいといつも願っています。

普段思っている事を言葉にして、厳しい文面になってしまいましたが、

日々、沢山の事を教えてもらっている子ども達と、ムーの活動にご理解とご協力を頂いているご家族に深く感謝申し上げます。

事業所名　　こどもの家　ムー

担当者　　　　草間　利恵子